

みんな大好きサクラ

サクラの木の下を見ると、花びらにまじって、花ごと落ちているものを見かけることがあると思います。

このすがた



よく見ると花の茎の部分が無いものが・・・これはスズメなどの鳥がサクラの花をちぎって花の後ろから蜜を吸っている（盗蜜）からなのです。

この盗蜜を行う生きものたちにはほとんど花粉を別のサクラに運んでくれないので、花にとっては少し困りものかも・・・。

顔に花粉がつく
→花粉を運ぶ



顔に花粉がつかない
→花粉を運ばない



春のサクラの木の上を見ると、
花粉だらけのメジロ見つかるかも!?

園内のサクラにも小さい『さくらんぼ』（サクラの実）がつくのですが、人間が食べるとちょっとしびいのですが、鳥にとっては大切な食べものの1つ。金川の森ではヒヨドリなどがよく食べに来ています。

危険な？香り

桜餅の香りがかぐと、春を感じられますね。あれは桜餅に使われているサクラの葉から香るもの。

クマリンという物質で、雨などで葉っぱから地面に落ちると周りに草や他の種類の木が生えにくくなる（アレロパシー効果）ので、サクラの木が生きていくために大切な物質の1つなのです。

サクラのほかにもチガヤという草からもこのにおいがします。



サクラにはこのほかにもいろいろなふしぎや楽しみ方があります。観察していてわからないことなどがあれば、どんぐりの森サービスセンターのスタッフにお尋ねください。

山梨県 金川の森セルフガイドシート

春の花

サクラをみてみよう



春といえばお花見、お花見といえばサクラというように私たちになじみのある花ですが、意外と知らないことが多いかも・・・？

花以外にも多くの魅力が詰まった木なので、このセルフガイドを使って、もっとサクラについて知ってみましょう！

サクラのかたち

ここではサクラのなかまの特徴を紹介し、他の木や花と見比べてみてください。

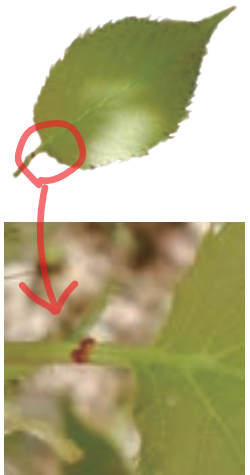


花びらは基本5枚あります。(ただ、サクラはきれいな花の種類をヒトが作っているの、花びらの数がこれより多くなることも。)



長い花のくきと筒のようになっているががあります。

葉っぱはだいたいこの形。葉の柄があって、周りに細かいギザギザ(鋸歯)があり、先がとがるか少し長くなります。



葉っぱの付け根に蜜の出る穴(蜜腺)があります。これがあるとアリが来るので、サクラの天敵の虫たちをとってくれます。



金川の森 さくらの森内マップ

さくらの森の中には多くの種類のサクラがあります。その中でも特徴の多い品種など、魅力的な7種類をピックアップして紹介しました。同じサクラのなかまでも花の色やかたちに違いが出るので、ぜひさくらの森に行ってみてください。



①カンヒザクラ
花の時期：3月中旬
濃いピンク色の下を向いたラッパ型の花。散るときは花ごと落ちてしまう。本来は沖縄などの暖かい場所にすんでいるサクラ。



②ヒヨドリザクラ
花の時期：4月中下旬
花びらの数がとても多い種類。花びらの中に葉になったものが混ざって作りが面白い。落ちていた花を分解してみるといいかも。



③ウワミズザクラ
花の時期：4～5月
たくさんの花がコップブラシのような姿で咲くサクラ。夏の終わりぐらいに熟す実は色々な生きものの食べものになる。



④ギョイコウ
花の時期：3月下旬～4月上旬
花びらに緑色が混じる変わった種類。時期ごとに色合いが変わっていく。



⑥オオシマザクラ
花の時期：3月下旬～4月上旬
白い大きめの花で、他のサクラに比べて花も葉もおいが強い。葉と花が一緒の時期に出る。桜餅についている葉はこのサクラの葉。



⑤ジュウガツザクラ
花の時期：4月、10月～12月
花びらが10枚ほどで小ぶりのサクラ。春のほかに、冬にも花が咲く種類。春のほうが花が咲く数が多い



⑦ウコン
花の時期：4月下旬
薄い黄色の花が咲く。咲いて日が経つにつれて花びらの根本からピンクに変化していく。